

1 芝生整備の効果

子どもたちは芝生が大好きです。芝生の校庭・園庭になると、子どもたちが裸足であそんだり、芝生のうえで寝ころんだりする光景をよく目にするようになります。

一般に芝生を整備すると次のような効果があると言われています。



(1) 子どもたちにとって

a) 緑とふれあえる

芝生は、樹木や草花と異なり、全身で触れ合うことができます。また、土の校庭・園庭にはない草の香りが楽しめます。

b) 目にやさしい

芝生の緑は目にやさしく、うるおいのある景観となります。

c) 自然のクッション

芝生の上は、適度なクッション性があり、転んでも怪我をすることが少なくなります。

d) 創造的な遊びが増える

芝生の上では、側転や倒立などいろいろな動きができるため、子どもの想像力、空想力を刺激し、みんなで遊びを作るといった発想につながります。



緑とふれあえます



転んでも痛くないので、思いっきり遊びや運動ができます

(2) 先生にとって

a) 施設の魅力アップ

芝生の校庭・園庭を持つ施設として、魅力がアップします。

b) 教材として使える

芝生の校庭・園庭を、運動するときのクッションとして使用することのほか、生物多様性や環境教育の教材として使うこともできます。



芝生にやってきたバッタ

c) 地域との交流が増える

芝生の校庭・園庭の維持管理など様々な活動をきっかけとして、地域の方々との交流を広げることができます。



地域の方々と維持管理

(3) 環境にとって

a) 生物が多くなる

芝生にすると、多くの小さな昆虫が芝生に生息するようになり、また、それらを餌とする大型の昆虫や鳥が飛来するようになります。

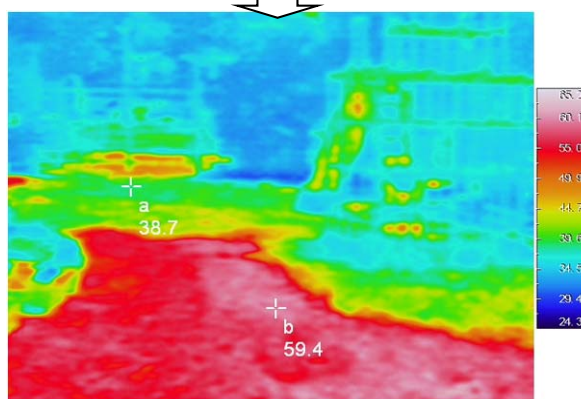
b) 気温の調節

芝生などの植物は、水を根から吸い上げ、葉から蒸気として放出します。この働きは蒸散といい、水が蒸気になるときに熱（気化熱）を使うので、周辺の温度を下げる効果があります。また、どんなに日の光が強くても、砂・土、コンクリートや人工芝と異なり、芝生自体の温度はあまり高くなりません。

また、ダスト舗装等に比べ、芝生の反射係数は低いので、夏季の照り返し防止にも役立ちます。

c) 砂ぼこりの防止

芝生化した部分からは、砂ぼこりが立ちません。また、風で飛ばされた砂を芝生がつかまえるので、特に空気の乾燥する冬季の砂ぼこりの抑制に効果的です。



サーモグラフで見ると土と芝生の温度の差がわかります。(約 20℃の温度差が出ています)